平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場会社名　富士紡ホールディングス株式会社　　上場取引所　東 大
コード番号　3104　URL　http://www.fujibo.co.jp/
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 中野 光雄
問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員　(氏名) 三木 康史　TEL 03-3665-7612

四半期報告書提出予定日　平成23年8月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	9,750	10.4	1,247	45.0	1,201	50.8	715	118.7
23年3月期第1四半期	8,830	18.1	860	162.5	796	149.6	327	118.5

(注)包括利益　24年3月期第1四半期　724百万円 (151.2%)　23年3月期第1四半期　288百万円 (―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	7.01	―
23年3月期第1四半期	3.08	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	41,420	13,052	31.4
23年3月期	40,829	12,633	30.8

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期　13,004百万円　23年3月期　12,587百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	3.00	3.00
24年3月期	―				
24年3月期(予想)		0.00	―	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,300	1.9	1,900	0.8	1,800	2.5	900	59.6	8.82
通期	37,800	5.1	4,200	11.4	4,000	14.5	2,100	128.7	20.57

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付書類3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	108,000,000 株	23年3月期	108,000,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	5,925,317 株	23年3月期	5,924,606 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	102,074,958 株	23年3月期1Q	106,183,046 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．　当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．　サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計処理の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．　四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）重要な後発事象 …… 9
（７）その他の注記事項 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期におけるわが国経済は、東日本大震災の影響や電力不足問題などにより、企業を取り巻く環境は先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境の下、当フジボウグループは紡績、テキスタイル、Ｂ．Ｖ．Ｄ．®ブランドのインナーウエアを中心とした繊維事業と超精密加工用研磨材の研磨材事業、機能化学品および医薬中間体などの受託製造の化学工業品事業を中心に営業力の強化を進め、収益力の改善、強化に努めました。

この結果、当第１四半期の連結売上高は9,750百万円(前年同期比919百万円、10.4％の増収)で、営業利益は1,247百万円(前年同期比387百万円、45.0％の増益)、経常利益は1,201百万円(前年同期比404百万円、50.8％の増益)となりました。また四半期純利益は、715百万円(前年同期比388百万円、118.7％の増益)となりました。

セグメントの業績は以下の通りであります。

①繊維事業

製品の主要ブランドであるＢ．Ｖ．Ｄ．®では、クールビズ向け機能性商品アイテムや季節商材の拡大により増収となりましたが、原材料高騰によるコストアップ等で利益面では苦戦を強いられました。

紡績は原綿価格が上昇したものの、大手アパレルメーカーやテキスタイルメーカーとの取り組みが成果を上げ、安定した販売と操業が続きました。テキスタイルは、クールビズ対応加工が堅調に推移しました。

この結果、売上高は前年同期比365百万円(10.0％)増収の4,020百万円となり、営業利益も69百万円(52.0％)増益の203百万円となりました。

②研磨材事業

主力の超精密加工用研磨材は、期初には一部国内ユーザ向けで震災の影響が見られたものの、液晶ガラス・ハードディスク・シリコンウエハー、半導体デバイス用途（ＣＭＰ）の各用途で海外ユーザー向けが堅調に推移しました。

この結果、売上高は前年同期比519百万円(22.7％)増収の2,802百万円となり、営業利益は341百万円(61.0％)増益の902百万円となりました。

③化学工業品事業

機能化学品および医薬中間体などの受託製造は、電材・医薬・農薬・特殊用途品と幅広く受注活動を行い、順調に操業を続けることができました。

この結果、売上高は前年同期比173百万円(11.9％)増収の1,635百万円、営業利益は３百万円(3.2％)減益の97百万円となりました。

④その他

自動車関連で三国間貿易を活用した中南米向け輸出が増加したものの、国内ユーザーがメインの精製部門、電子機器製品の産業用プリント基板及び化成品などの事業では、一部ユーザーの震災影響による受注減により、減収、減益となりました。

この結果、売上高は前年同期比139百万円(9.7％)減収の1,292百万円となり、営業利益は23百万円(34.8％)減益の44百万円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べて778百万円増加の17,210百万円となりました。これは、主として受取手形及び売掛金や商品及び製品などの棚卸資産が増加したことによります。固定資産は前連結会計年度末に比べて188百万円減少の24,209百万円となりました。これは主として減価償却費の計上等により有形固定資産が減少したことによります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて590百万円増加の41,420百万円となりました。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べて230百万円増加の16,300百万円となりました。これは、引当金、未払法人税等が減少しましたが、支払手形及び買掛金が増加したことなどによります。固定負債は前連結会計年度末に比べて若干減少の12,067百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて171百万円増加の28,367百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて419百万円増加し、13,052百万円となりました。これは、剰余金の配当の実施により306百万円の減少がありましたが、当四半期純利益715百万円の計上による増加があったこと等によります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想につきましては、平成23年５月11日公表時から変更しておりません。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

原価差異の繰延処理

定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を流動負債として繰延べております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表等

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,433	2,278
受取手形及び売掛金	8,941	9,597
商品及び製品	2,132	2,380
仕掛品	1,108	1,077
原材料及び貯蔵品	983	1,189
その他	845	700
貸倒引当金	△13	△12
流動資産合計	16,431	17,210
固定資産		
有形固定資産		
土地	14,364	14,376
その他（純額）	8,314	8,137
有形固定資産合計	22,678	22,514
無形固定資産	256	245
投資その他の資産		
その他	1,475	1,453
貸倒引当金	△13	△3
投資その他の資産合計	1,462	1,449
固定資産合計	24,397	24,209
資産合計	40,829	41,420

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,461	5,906
短期借入金	7,992	8,001
未払法人税等	300	165
引当金	550	277
その他	1,765	1,949
流動負債合計	16,070	16,300
固定負債		
長期借入金	4,208	4,145
退職給付引当金	3,147	3,227
引当金	10	5
資産除去債務	196	197
その他	4,563	4,491
固定負債合計	12,126	12,067
負債合計	28,196	28,367
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,400	5,400
資本剰余金	0	0
利益剰余金	5,616	6,028
自己株式	△652	△652
株主資本合計	10,364	10,775
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29	21
繰延ヘッジ損益	1	△1
土地再評価差額金	2,157	2,154
為替換算調整勘定	34	52
その他の包括利益累計額合計	2,223	2,228
少数株主持分	45	48
純資産合計	12,633	13,052
負債純資産合計	40,829	41,420

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）
売上高	8,830	9,750
売上原価	6,053	6,450
売上総利益	2,776	3,300
販売費及び一般管理費	1,916	2,052
営業利益	860	1,247
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	15	17
固定資産賃貸料	41	40
その他	9	10
営業外収益合計	67	68
営業外費用		
支払利息	66	53
固定資産賃貸費用	30	26
その他	34	33
営業外費用合計	130	114
経常利益	796	1,201
特別利益		
貸倒引当金戻入額	4	－
固定資産売却益	3	0
特別利益合計	7	0
特別損失		
固定資産処分損	19	10
減損損失	2	11
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	101	－
その他	11	－
特別損失合計	133	21
税金等調整前四半期純利益	670	1,179
法人税、住民税及び事業税	94	316
法人税等調整額	246	145
法人税等合計	340	462
少数株主損益調整前四半期純利益	329	717
少数株主利益	2	2
四半期純利益	327	715

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	329	717
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△74	△8
繰延ヘッジ損益	△3	△2
為替換算調整勘定	36	17
その他の包括利益合計	△41	6
四半期包括利益	288	724
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	283	722
少数株主に係る四半期包括利益	4	2

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項なし。

（4）セグメント情報等

Ⅰ 前第１四半期連結累計期間(自 平成22年４月１日 至 平成22年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他(注)１	合計	調整額(注)２	四半期連結損益計算書計上額(注)３
	繊維事業	研磨材事業	化学工業品事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,654	2,283	1,461	7,399	1,431	8,830	―	8,830
セグメント間の内部売上高又は振替高	4	0	―	4	13	17	△17	―
計	3,658	2,283	1,461	7,403	1,444	8,848	△17	8,830
セグメント利益	133	560	101	794	67	862	△2	860

（注）１ 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業、化成品事業、電子機器事業及び精製事業等を含んでいる。

２ セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去が含まれている。

３ セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項なし。

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間(自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他(注)１	合計	調整額(注)２	四半期連結損益計算書計上額(注)３
	繊維事業	研磨材事業	化学工業品事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,020	2,802	1,635	8,458	1,292	9,750	―	9,750
セグメント間の内部売上高又は振替高	4	1	―	6	18	24	△24	―
計	4,025	2,804	1,635	8,464	1,310	9,775	△24	9,750
セグメント利益	203	902	97	1,203	44	1,247	0	1,247

（注）１ 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業、化成品事業、電子機器事業及び精製事業等を含んでいる。

２ セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去が含まれている。

３ セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項なし。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし。

（６）重要な後発事象

該当事項なし。

（７）その他の注記事項

（追加情報）

当第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。